

仙台市の市政と財政状況

令和5年10月

目次

1

仙台市の概要とまちづくり

仙台市の概要	2	脱炭素・資源循環型社会への取り組み	7
防災環境都市・仙台	4	市政トピックス①「仙台防災枠組中間評価」	8
仙台防災枠組2015-2030 ～仙台から世界へ～	5	市政トピックス②「次世代放射光施設ナノテラスの整備」	9
SDGs（持続可能な開発目標）の推進	6	市政トピックス③「全国都市緑化仙台フェア」の開催	10

2

予・決算の状況、財政指標

令和5年度当初予算の概要及び施策体系	12	財政力指数・経常収支比率等	22
一般会計当初予算の推移	13	市債発行の状況（一般会計＋特別会計）	23
復旧・復興事業の概算事業費	14	普通会計市債残高の推移	24
一般会計歳入・歳出（性質別）決算の推移	15	一般会計公債費の推移	25
実質収支・プライマリーバランスの状況（普通会計決算）	17	各種基金の状況	26
令和4年度特別会計・企業会計決算の概要	19	主な基金残高の推移	27
健全化判断比率・資金不足比率	21	基金残高の他都市比較（普通会計）	28

3

行財政改革、財政見直し等

仙台市役所経営プラン	30	令和5年度市場公募地方債発行計画	33
仙台市公共施設総合マネジメントプラン	31	グリーンボンドの発行	34
令和5年9月試算 今後の財政見直し（普通会計ベース）	32	令和5年度グリーンボンド発行概要	35

The background features a soft-focus illustration of green trees in the upper half and a city skyline silhouette in the lower half, all in shades of green. A dark green square with the number '1' is positioned above the main title.

1

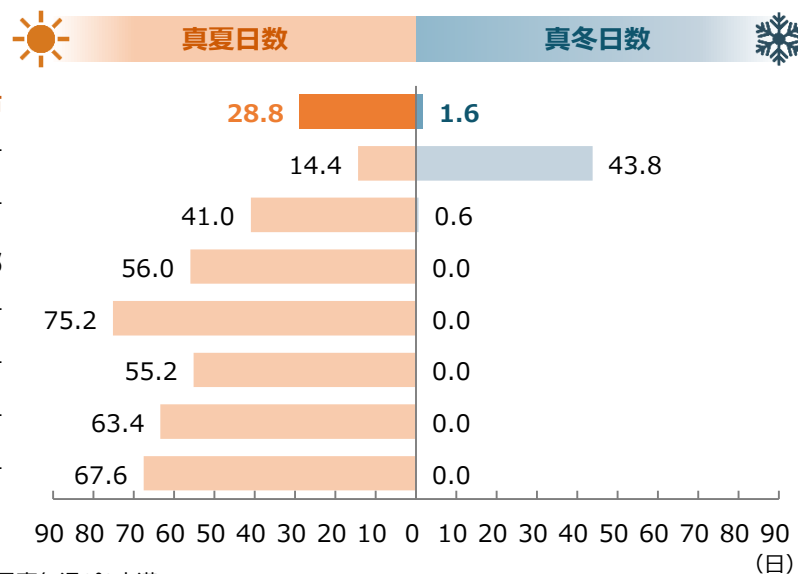
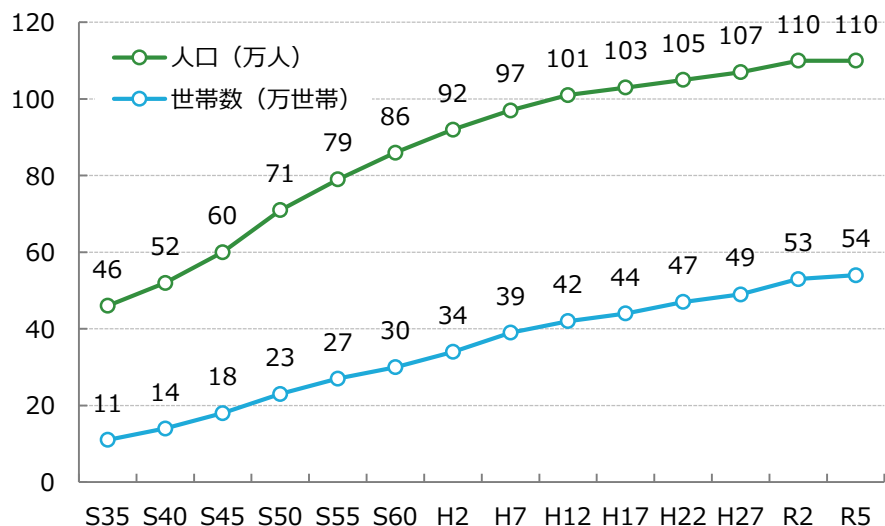
仙台市の概要とまちづくり

仙台市の概要①

- 仙台市は、1600年に伊達政宗公が居城を定めて以来、雄藩の城下町として栄え、平成元（1989）年に東北で初めての政令指定都市となりました。「杜の都」と呼ばれる豊かな自然環境、「学都」としての高度な研究開発機能を有し、東北の政治・経済・学術・文化の中核都市として発展してきました。

人口	約110万人（令和5年6月1日現在推計人口）
世帯数	約54万世帯（令和5年6月1日現在推計人口）
面積	786.35km ²
気候	太平洋に面した海洋性気候 寒暖の差が少ない

アクセス	東京から新幹線で約90分 国内10都市、海外6都市と空路で結節
経済	市内総生産（名目）：約5兆268億円 （令和2年度市民経済計算） 年間商品販売額：約8兆6,834億円 （令和3年経済センサス活動調査）
年間観光客数	約1,922万人（令和4年）



真冬日／最高気温0℃未満
真夏日／最高気温30℃以上 H29～R3平均

仙台市の概要②

- 仙台市には多種多様な観光資源が存在し、コロナ禍前の令和元年（2019年）には年間宿泊者数600万人を達成しました。
- 新型コロナウイルス感染症からの復活にむけて、令和5年度を「観光再生元年」と位置づけ、交流人口の回復・拡大に力を入れて取り組んでいます。

温泉



～歴代仙台藩主のかくし湯～
作並温泉



～開湯より千年以上の歴史あり～
秋保温泉

季節のイベント



～江戸時代の伝統を引き継ぐ～
仙台七夕まつり

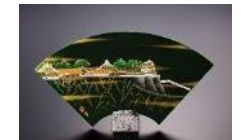


～市民によって創られた～
SENDAI光のページェント

伊達な銘産品



～仙台生まれの美味いもん～
牛たん焼き・笹かまぼこ 等



～伊達政宗公から続く匠の技～
宮城伝統こけし・仙台筆筒・堤焼・堤人形・仙台釣竿・仙台平 等

防災環境都市・仙台

- 「防災環境都市」づくりは、杜の都の豊かな環境を基礎とし、東日本大震災の経験や教訓を踏まえた快適で防災力の高い都市を創造するとともに、都市ブランドとして磨き上げていくことを目指すものです。

背景

「杜の都」の環境づくりの歴史

大震災の経験・教訓と
震災復興計画

国連防災世界会議開催と
仙台防災枠組の採択等

「仙台市防災・減災のまち
推進条例」の制定

防災性
強靭さ・回復力

確かな未来を創る
防災環境都市
仙台

脱炭素
地球環境

快適性
生活環境
自然環境
都市環境

施策

防災環境まちづくり

防災環境ひとづくり

経験と教訓の伝承等

復興の
取り組み

世界の防災文化への貢献・都市ブランドの確立
安全・安心で持続可能な都市づくり

仙台防災枠組2015-2030 ～仙台から世界へ～

- 2015年、仙台市で開催された第3回国連防災世界会議において、東日本大震災の経験と教訓が取り入れられた「**仙台防災枠組2015-2030**」が採択されました。
- 本市は採択都市として「防災環境都市」づくりの中で、枠組の基本的な考え方である「**より良い復興（ビルド・バック・ベター）**」などを実践しています。
- 世界の国々の防災・減災への取り組みの指針となるもので、**SDGs、パリ協定と並んで、2030年に向けた3つのグローバル・アジェンダ**と呼ばれています。

市民のための

仙台
防災
枠組

2015-2030

Sendai Framework for
Disaster Risk Reduction
2015-2030

わたしたちが優先すべき
災害への備え

JCC-DRR



SDGs（持続可能な開発目標）の推進

- 仙台市では、SDGsの推進を市民や企業などの多様な主体と連携して取り組むにあたっての共通理念として、今後のまちづくりを進めていくために、「**仙台市SDGs（持続可能な開発目標）推進方針**」を策定しています。
- SDGsの持続可能という考えは本市の施策全般に通じるとともに、東日本大震災を経て、防災環境都市を目指すグローバルな施策展開の観点からも重要なものであることから、本市は、SDGsの推進を市民や企業などの多様な主体と連携して取り組むにあたっての共通理念として、今後のまちづくりを進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「SDGs未来都市」の選定（2020年7月）

- SDGsの達成に貢献する優れた取り組みを行う自治体として、内閣府に選定されました。
- 東日本大震災の被災経験を踏まえた、本市ならではの防災や環境配慮の視点を織り込んだまちづくり「**防災環境都市・仙台**」の推進の提案が評価されました。



SDGs×防災×杜の都シンポジウム／SDGs Week

- 仙台防災未来フォーラムの1プログラムとして、「**SDGs×防災×杜の都シンポジウム**」を共催しました。（2021年・2022年・2023年）
- SDGsを楽しみながら学ぶイベントとして、「**SDGs Week**」を共催しました。（2022年）



SDGs×防災×杜の都シンポジウム



SDGs Week

脱炭素・資源循環型社会への取り組み

- 仙台市は**2021年にゼロカーボンシティ宣言**を行い、世界的に喫緊の課題である地球温暖化対策に率先して取り組むため、住宅の断熱化や太陽光発電システムの導入支援など、家庭の脱炭素化を促進するとともに、事業活動における温室効果ガス排出削減のための事業を推進しています。
- 全国に先駆けて製品プラスチック一括回収・リサイクルを行っているほか、企業と連携してペットボトルの水平リサイクルを実施するなど、プラスチック資源循環を推進しています。



家庭の脱炭素化の支援事業



製品プラスチック一括回収・リサイクル

市政トピックス①「仙台防災枠組中間評価」

仙台防災枠組中間評価

- 2023年、「仙台防災枠組2015-2030」が中間年を迎えたことから、東北大学災害科学国際研究所と連携し、本市独自の評価・分析を行う中間評価を行いました。自治体としての中間評価は、世界初の試みです。
- 枠組に定められた目標については順調に達成中ですが、風水害に限ると家屋などの損壊や農業被害等が増加しており、今後の課題として確認されました。

仙台防災枠組実施状況の中間評価にかかる国連ハイレベル会合での発信

- 2023年5月に国連本部（米国・ニューヨーク市）で開催された「仙台防災枠組」の進捗状況を議論する首脳級会合に郡市長が出席しました。
- 「防災環境都市づくり」や「仙台防災枠組中間評価」について英語で演説しました。



中間評価報告書



首脳級会合の様子



国連本部で演説する郡市長

市政トピックス②「次世代放射光施設ナノテラスの整備」

- 2024年度運用開始予定の次世代放射光施設ナノテラスの立地を、仙台・東北の産業におけるイノベーションや付加価値の創出などにつなげ、地域経済への波及効果を最大限生み出す「光イノベーション都市」実現を目指します。



トライアルユース（既存放射光施設活用事例創出事業）

G7仙台科学技術大臣会合



測定作業の様子



成果発表会チラシ



事例集リーフレット



ナノテラス内での集合写真

市政トピックス③「全国都市緑化仙台フェア」の開催

国内最大級の花とみどりのイベントを34年ぶりに開催



愛称 未来の杜せんだい2023 ~Feel green!~

開催期間 令和5年4月26日(水)～6月18日(日) (54日間)

会場 青葉山公園追廻地区、西公園南側地区、広瀬川地区 ほか

来場者数※

115万人

(当初目標入場者数 100万人)

※ 速報値



大花壇「はなばた飾り」



仙臺緑彩館

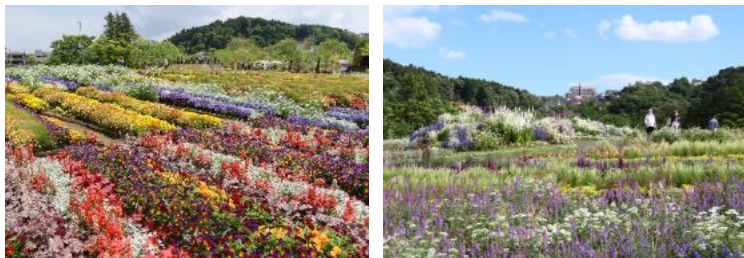


まちなかエリア会場 (定禅寺通)

メイン会場

- 追廻地区の緑彩館及び一部芝生広場は7月より利用可能、残りのエリアは整備を進め、令和6年度より供用予定
- 西公園南側地区も整備を進め、令和6年度中の供用を目指す
- 市民協働により作られた花壇や子供用の遊具などはフェアのレガシーとして公園内に一部残す予定

新たな【都心の憩いの場】
として活用



The background features a stylized illustration of lush green trees in the upper half and a city skyline silhouette in the lower half, all rendered in various shades of green. A dark green square with a white number '2' is positioned above the main title.

2

予・決算の状況、財政指標

令和5年度当初予算の概要及び施策体系

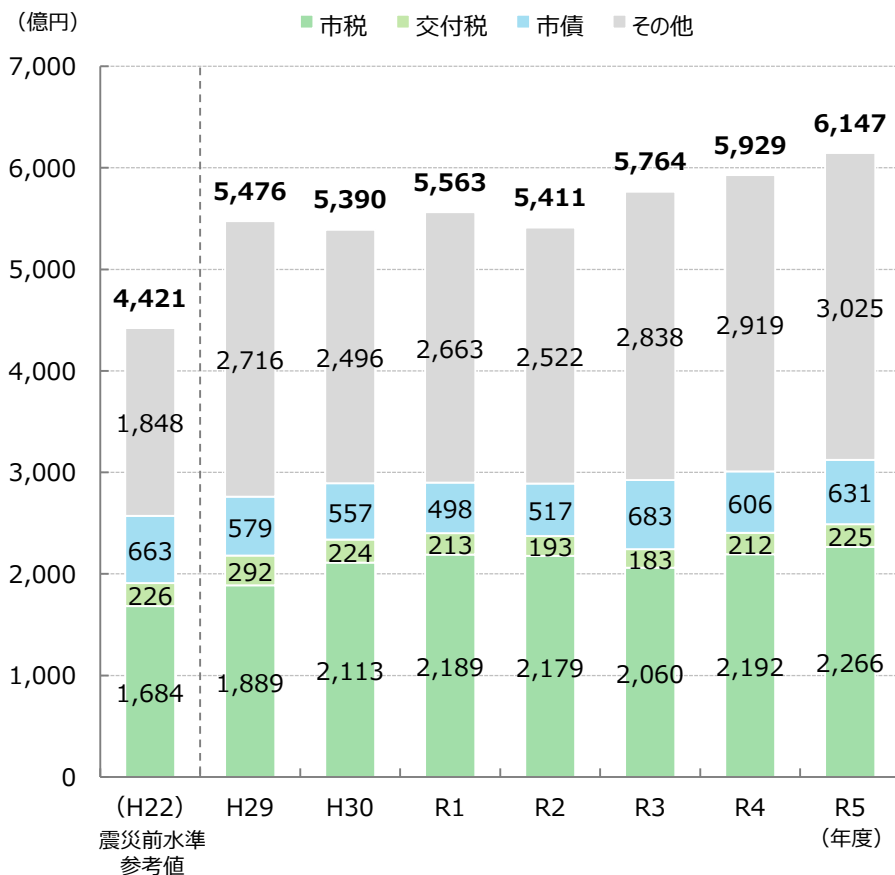
- 国内外がアフターコロナに向けて動き出す中、本市の未来を切り開く鍵となる幅広い人材の交流と新たな価値の創出を目指すとともに、内外から選ばれる「**“The Greenest City” SENDAI**」の実現に向け、以下の経費に予算を重点配分しています。

<p style="text-align: center;">柱1</p> <p style="text-align: center;">ひとが輝く、デジタル化を推進する</p>	<p style="text-align: center;">柱2</p> <p style="text-align: center;">ひとの暮らしを支え、未来の担い手を育む</p>	<p style="text-align: center;">柱3</p> <p style="text-align: center;">すべてのひとが活躍できるまちの魅力を創造し、発信する</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 最先端技術を活用したまちのデジタル化 (35億7,631万円) ■ 次世代放射光施設等関連産業振興 (32億8,941万円) ■ デジタル化による地域産業活性化 (6億9,485万円) ■ 防災・減災分野におけるデジタル化 (8,614万円) ■ 教育におけるデジタル化 (3億8,748万円) <p style="text-align: right;">ほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ すこやか子育てプラン推進 (781億6,171万円) ■ 妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実 (672億525万円) ■ 地域社会全体で子供の育ちと子育てを応援していく環境づくり (3億2,892万円) ■ 35人以下学級の実施 (6億809万円) ■ 新型コロナウイルス感染症対策 (209億4,112万円) <p style="text-align: right;">ほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光振興 (16億1,058万円) ■ 経済対策・雇用対策推進 (232億3,795万円) ■ 資源循環都市づくり推進 (67億3,697万円) ■ 企業立地促進 (5億4,852万円) ■ 脱炭素都市づくり等推進 (6億3,966万円) <p style="text-align: right;">ほか</p>

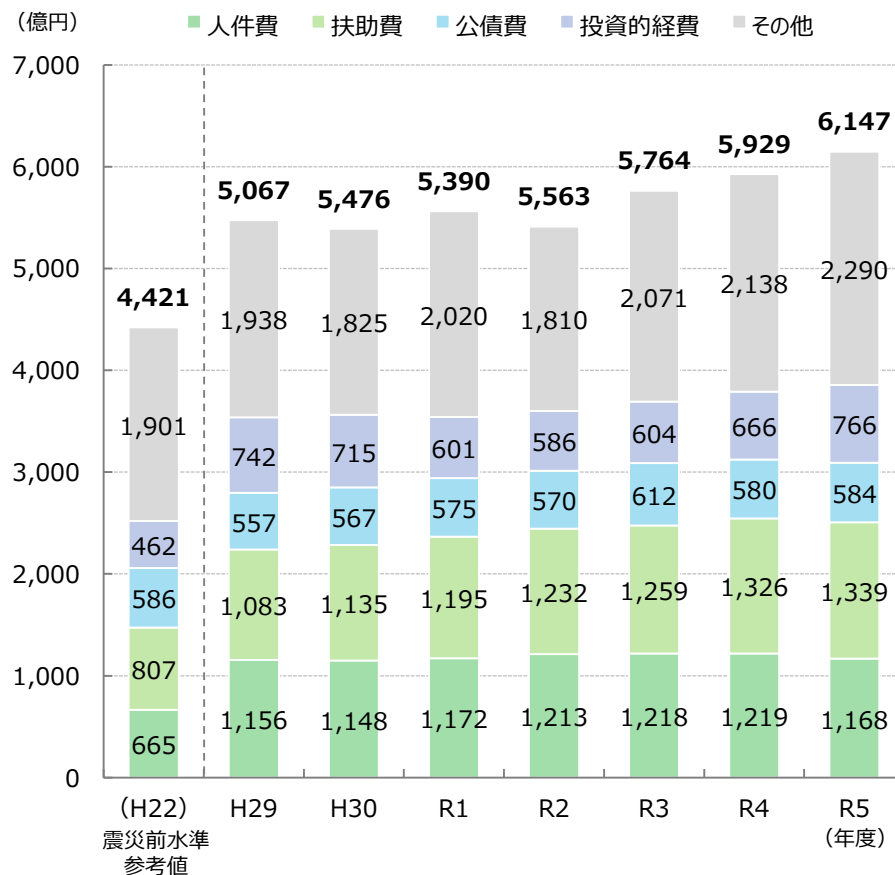
一般会計当初予算の推移

- 令和5年度一般会計当初予算の規模は、新型コロナウイルス感染症対策費や市営住宅建設費の増加などにより、**対前年度比+3.7% (約218億円増)**となりました。
- 市税収入については、土地に係る軽減措置の終了による固定資産税の増加などにより、**対前年度比+3.4% (約74億円増)**となりました。

一般会計当初歳入予算



一般会計当初歳出予算 (性質別)



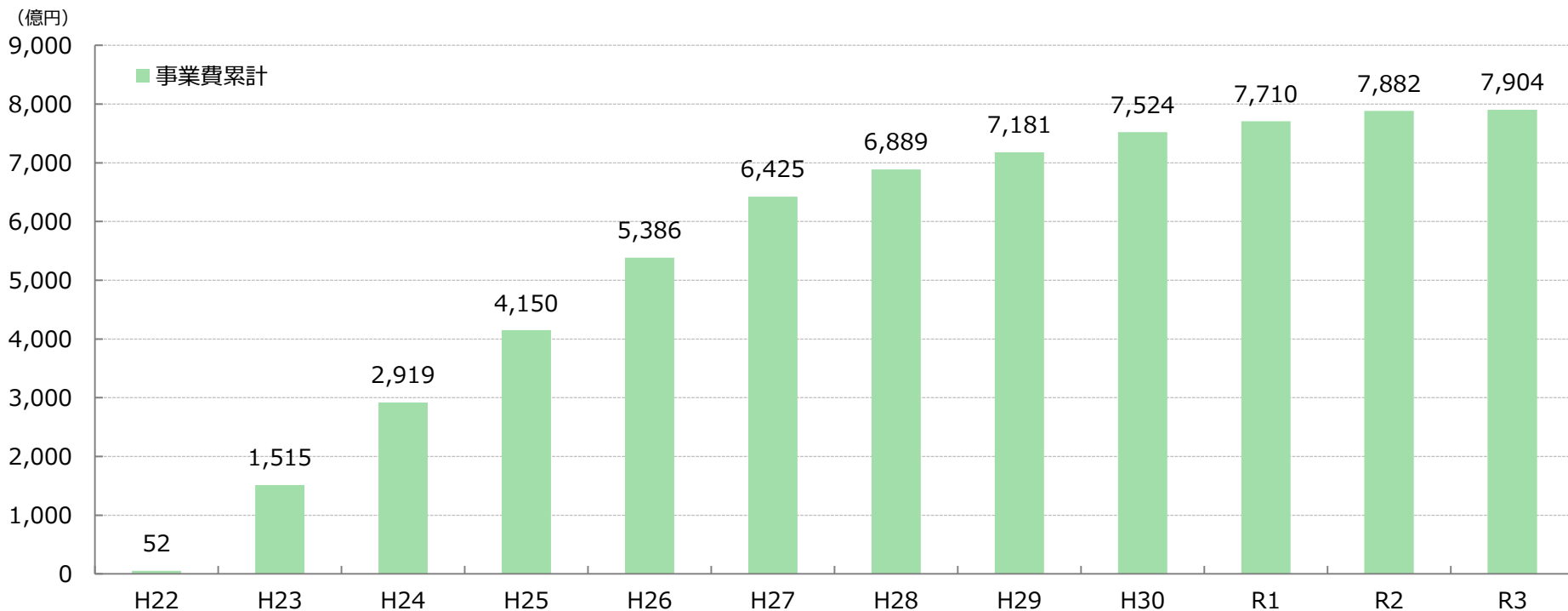
復旧・復興事業の概算事業費

- 仙台市の復旧・復興に係るハード事業は概ね完了しており、概算事業費は約7,989億円と見込まれます。震災からの再生、復興の実現のため、今後も必要な財源の確保に取り組んでいきます。

概算事業費 約**7,989**億円
(令和5年1月現在)

災害救助費関連	約 483億円
公共施設復旧等	約 2,663億円
復興・再生事業	約 4,842億円

復旧・復興事業の進捗状況

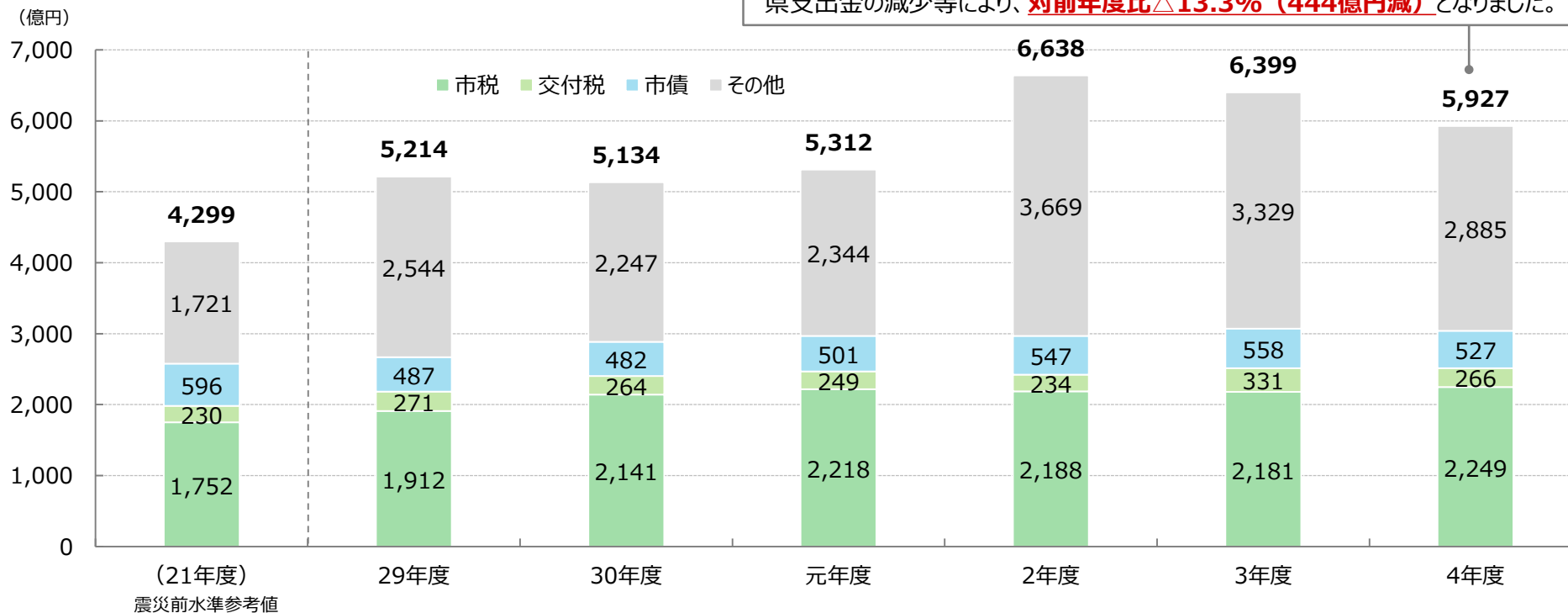


一般会計歳入決算の推移

令和4年度歳入決算の概要

1	市税（構成比37.9%）	感染症の影響を受けた中小事業者等に対する軽減措置の終了及び土地に係る負担調整措置等による固定資産税及び都市計画税の増加等により、 対前年度比+3.1%（約68億円増） となりました。
2	地方交付税（同4.5%）	普通交付税の減少等により、 対前年度比△19.6%（約65億円減） となりました。
3	市債（同8.9%）	臨時財政対策債の減少等により、 対前年度比△5.4%（約30億円減） となりました。

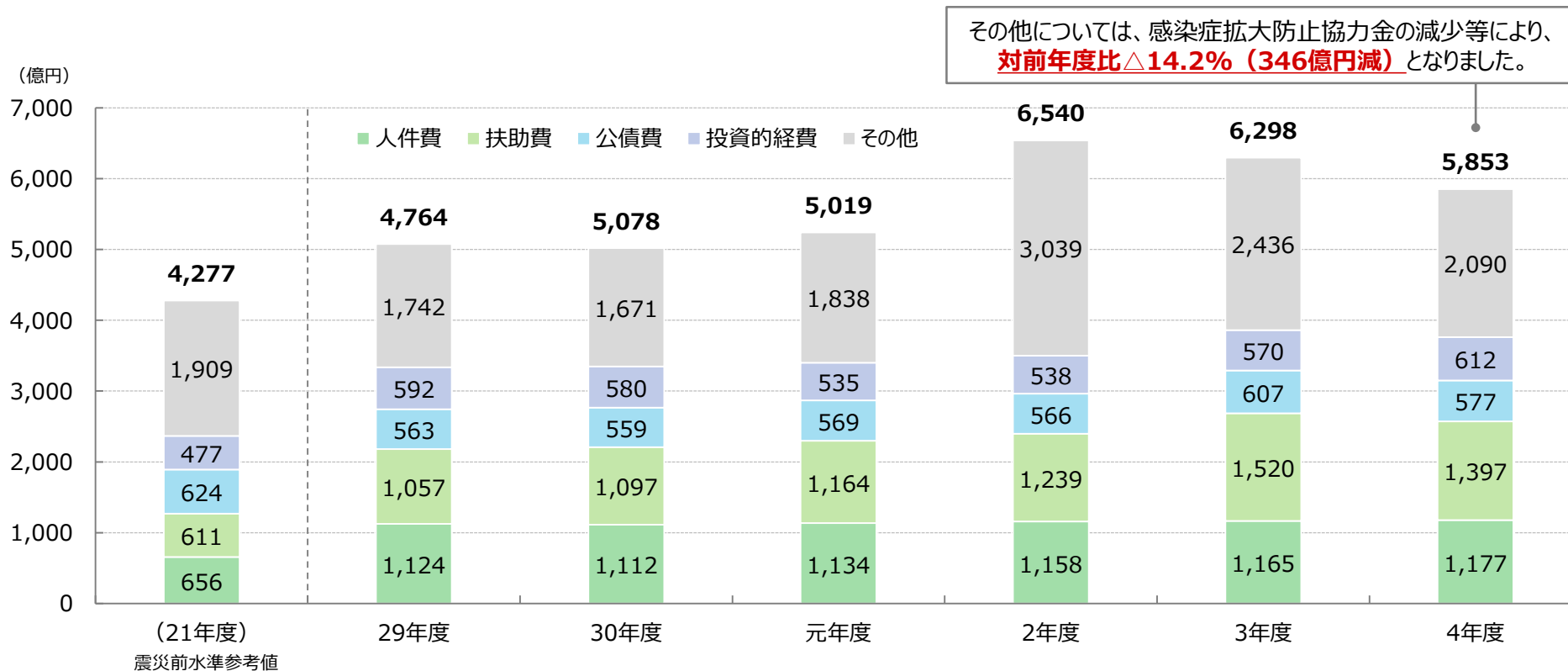
その他については、感染症拡大防止協力金交付事業補助金の減少等による県支出金の減少等により、**対前年度比△13.3%（444億円減）**となりました。



一般会計歳出決算（性質別）の推移

令和4年度歳出決算の概要

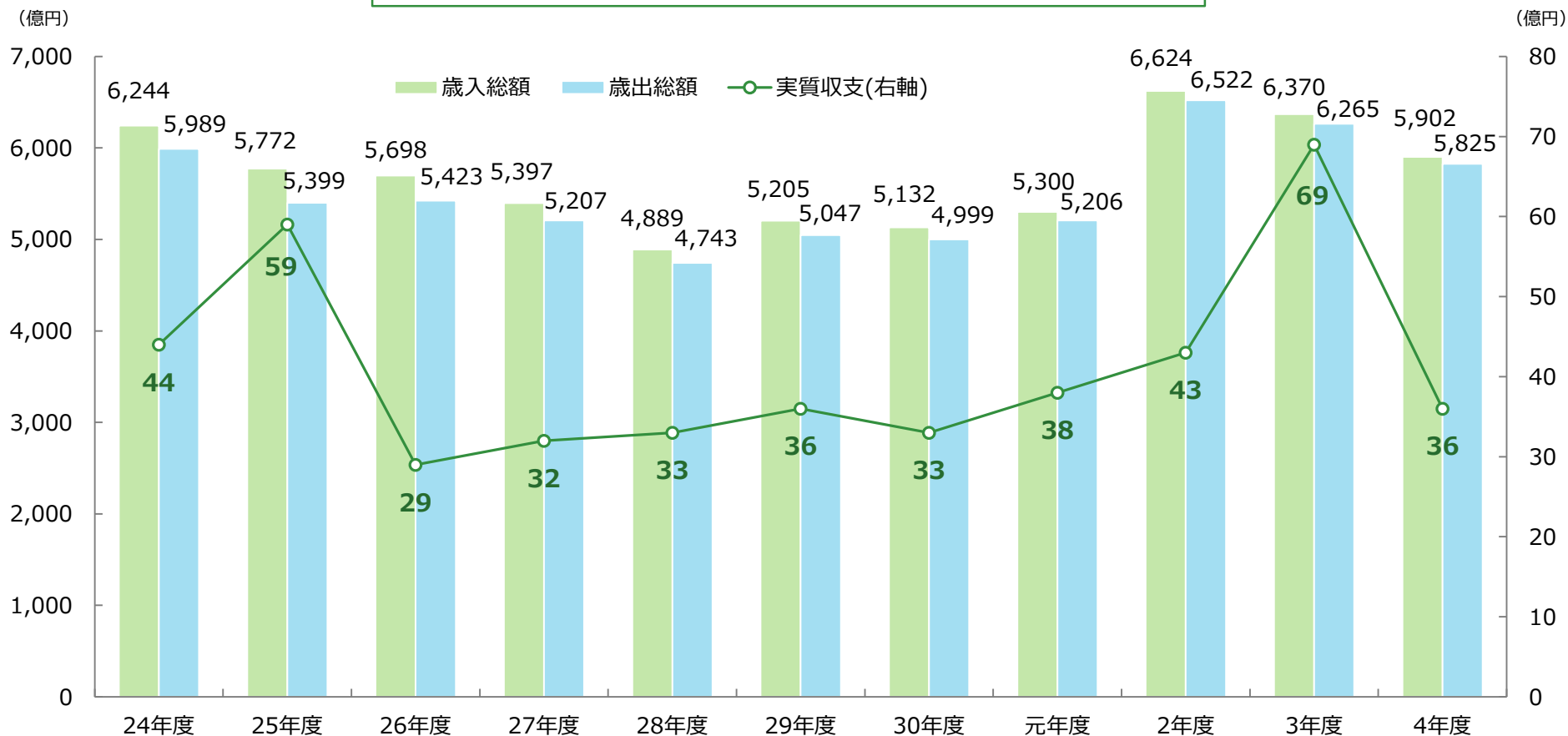
1 義務的経費 （構成比53.9%）	人件費、扶助費及び公債費を合計した義務的経費は、 対前年度比△4.3%（約141億円減） となり、感染症対策のため大幅に増加した前年度からは減少したものの、増加傾向にあります。人件費は 対前年度比+1.1%（約13億円増） 、子育て世帯等への給付金（感染症対策）等の減により扶助費は 対前年度比△8.1%（約124億円減） となっています。
2 投資的経費（同10.4%）	松森工場整備の増加等により、 対前年度比+7.5%（約43億円増） となりました。



実質収支の状況（普通会計決算）

- 仙台市の令和4年度の実質収支は約**36億円の黒字**となっており、安定した財政運営を実施しています。

実質収支 = 歳入歳出差引額（形式収支） - 翌年度へ繰り越すべき財源

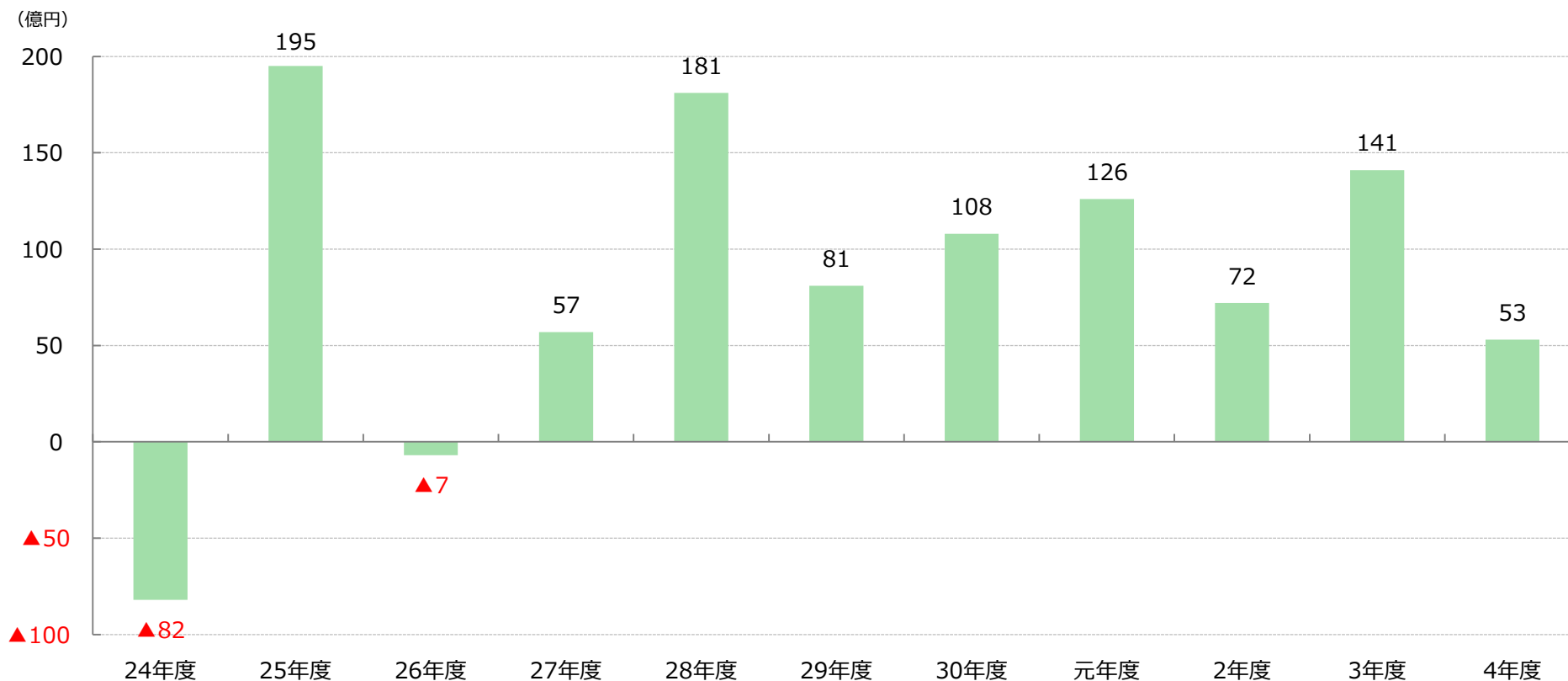


プライマリーバランスの状況（普通会計決算）

- 仙台市の令和4年度のプライマリーバランスは約**53億円の黒字**となっております。東日本大震災後は、一時的に赤字となりましたが、近年は継続的に黒字を確保しています。

プライマリーバランス ※仙台市モデル：公債の利払い費と償還額を除いた歳出と、公債発行収入を除いた歳入のバランスをみる指標

※ 総務省方式改訂モデルでは、繰越事業の歳出が当年度に、その財源である歳入が前年度に計上されるため、前年度からの繰越や翌年度への繰越の規模によってはプライマリーバランスが大きく改善もしくは悪化する傾向を踏まえ、繰越事業に係る歳入を繰越事業を執行する年度の歳入として、プライマリーバランスを算定したものと



令和4年度特別会計決算の概要

- 仙台市では10の特別会計を設けています。いずれも実質収支は均衡又は黒字となっています。

(単位：百万円)

会計名	歳入総額 A	歳出総額 B	差引 C (A-B)	翌年度 繰越財源 D	実質収支 C-D	会計の概要
都市改造	1,064	1,064				市施行土地区画整理事業等の実施
国民健康保険	92,570	92,049	521		521	国民健康保険事業の運営
中央卸売市場	3,304	3,304				中央卸売市場の整備・管理運営
公共用地先行取得	937	937				公共用地の先行取得
駐車場	202	202				市営駐車場の管理運営
公債管理	117,968	117,968				公債償還の管理
母子父子寡婦福祉資金貸付	357	128	229		229	母子世帯等への福祉資金の貸付
新墓園	725	684	41		41	いずみ墓園の整備・管理運営
介護保険	83,611	81,779	1,832		1,832	介護保険事業の運営
後期高齢者医療	13,762	13,706	56		56	後期高齢者医療事業の運営
特別会計合計	314,500	311,821	2,679		2,679	

令和4年度企業会計決算の概要

- 仙台市では6の企業会計を設けています。公益性と事業性のバランス確保のため、不断の経営努力を重ねています。

(単位：百万円)

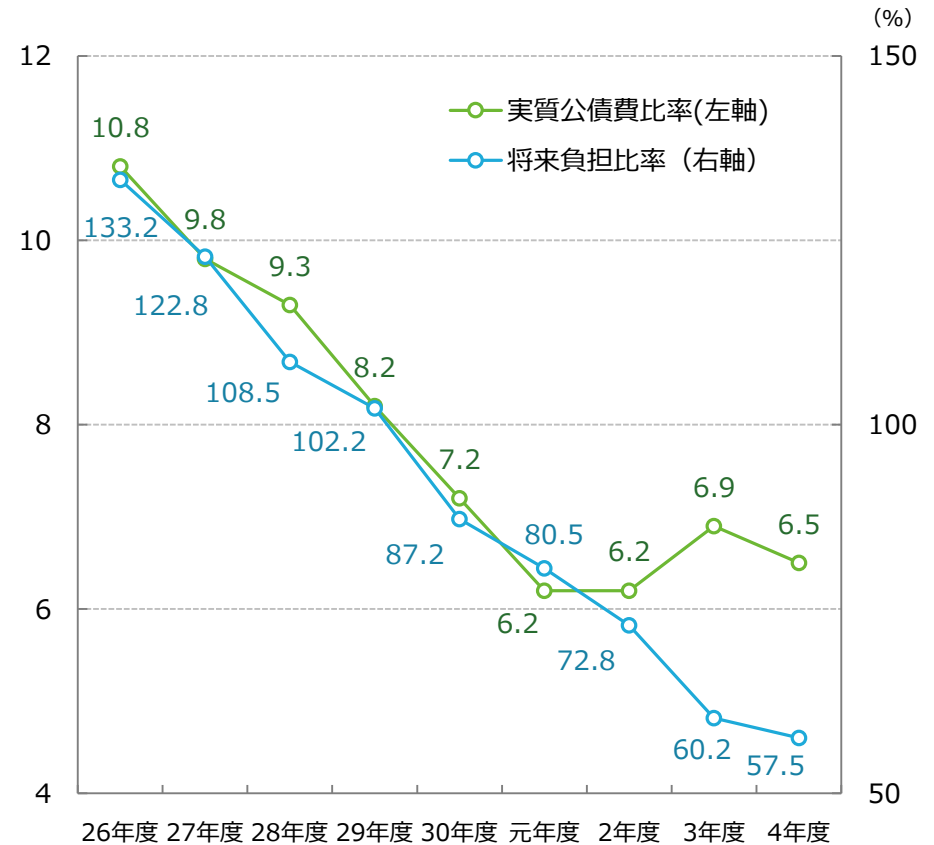
区分		下水道事業	自動車運送事業	高速鉄道事業	水道事業	ガス事業	病院事業	合計	
収益的収支	収入	A	35,591	9,734	21,271	30,229	51,785	20,275	168,885
	支出	B	32,755	10,161	22,693	25,221	44,108	19,942	154,880
	差引	C=A-B	2,836	△ 427	△ 1,422	5,008	7,677	333	14,005
当年度純損益（税抜）			2,134	△ 516	△ 1,629	4,038	5,645	332	10,004
未処理剰余金（△欠損）			4,491	△ 7,535	△ 97,387	8,360	8,626	△ 7,682	△ 91,127
資本的収支	収入	D	15,050	1,123	2,492	4,308	1,027	1,128	25,128
	前・翌年度支出の財源充当額	E							
	支出	F	30,417	1,868	10,656	17,282	5,652	1,667	67,542
	差引	G=D-E-F	△ 15,367	△ 745	△ 8,164	△ 12,974	△ 4,625	△ 539	△ 42,414
補てん財源		H	16,283	428	3,436	23,898	14,869	6,361	65,275
資本費負担緩和債		I			1,097				1,097
災害復旧事業債 （営業費用充当分）		J							
他会計長期借入金		K							
特別減収対策企業債		L		100	2,500				2,600
当年度末資金剰余額		M= G+H+I+J+K+L	916	△ 217	△ 1,131	10,924	10,244	5,822	26,558
（参考）一般会計からの繰出金			6,834	2,962	769	853	90	2,759	14,267

健全化判断比率・資金不足比率

- いずれも早期健全化基準等を十分下回っており、概ね適正な水準にあると言えます。

指標	仙台市	政令指定都市平均	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字団体なし	11.25%	20%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字団体なし	16.25%	30%
実質公債費比率	6.5%	7.1%	25%	35%
将来負担比率	57.5%	72.8%	400%	
公営企業における資金不足比率	自動車運送事業 3.7% (その他はなし)	3都市3事業で 資金不足発生	経営健全化 基準 20%	

実質公債費比率・将来負担比率

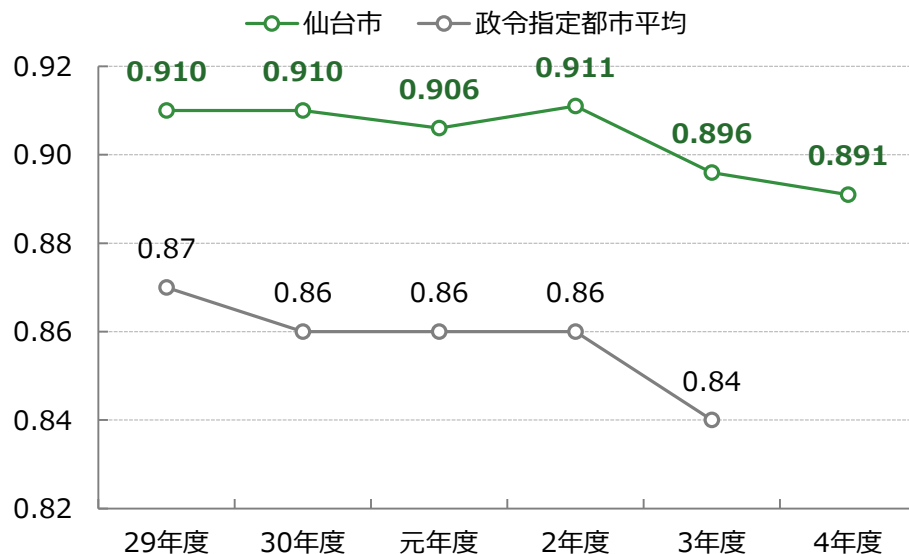


※ 仙台市の指標は令和4年度決算（速報値）
 ※ 政令指定都市平均は令和3年度決算に基づくもの
 ※ 早期健全化基準及び財政再生基準は仙台市（政令指定都市）への適用基準

財政力指数・経常収支比率等

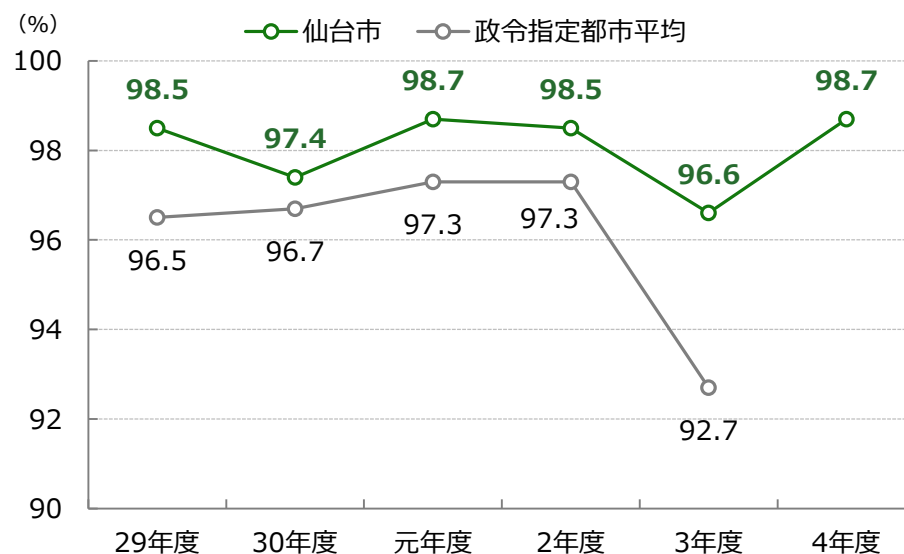
財政力指数

- 地方公共団体の財政力を示す指数の1つで、この指数が高いほど財源に余裕があるといえます。



経常収支比率

- 財政構造の弾力性を示す比率で、この比率が高いほど、政策的な経費に回す余裕がないことを表します。



債務負担行為額

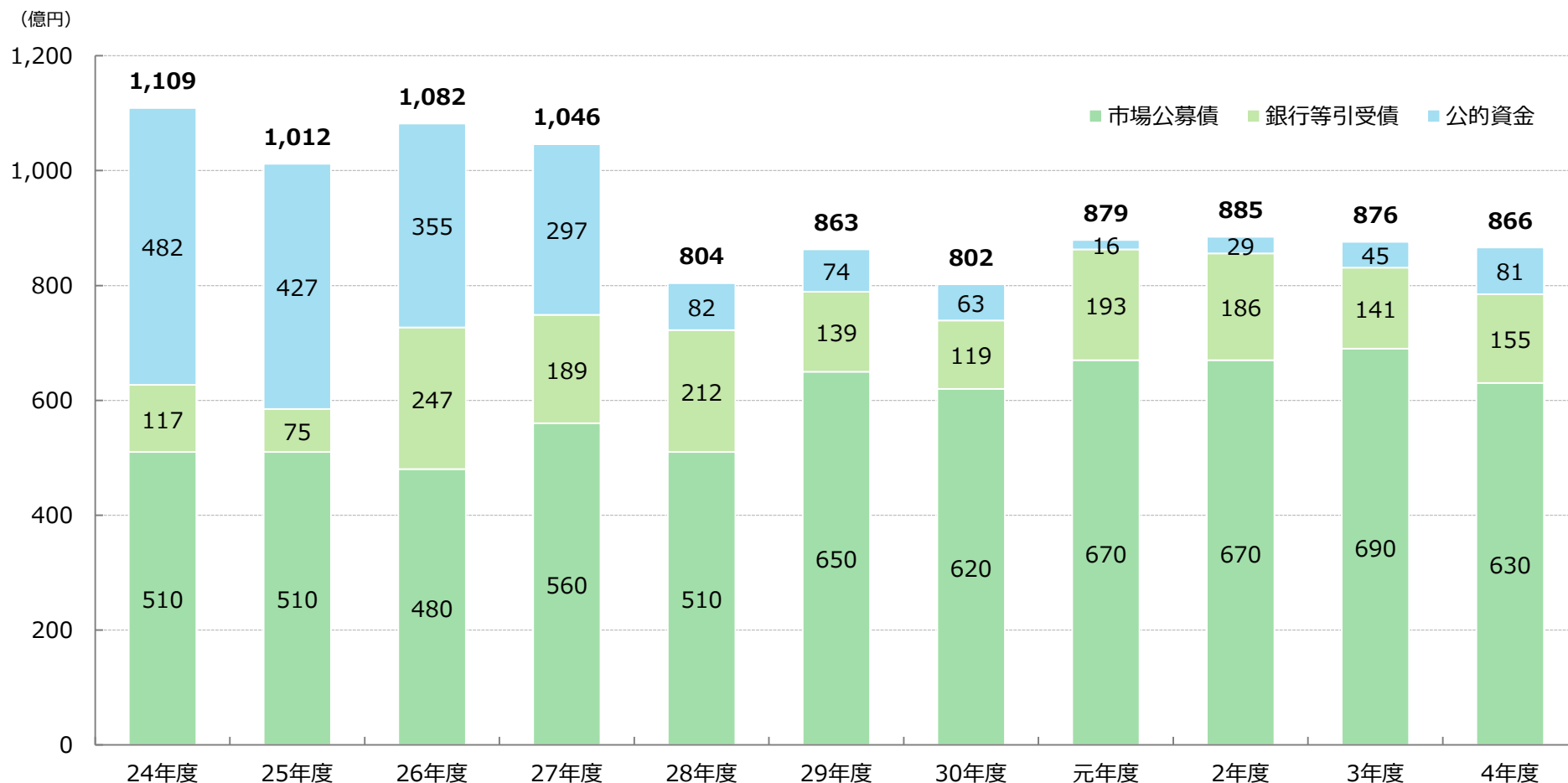
令和4年度末における債務負担行為額（普通会計）は約1,857億円で、前年度末に比べ約166億円増加しています。主な設定項目として、ごみ収集運搬や市民センター運営管理があります。

新地方公会計制度に基づく財務諸表

仙台市では、新地方公会計制度に基づく貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務諸表を作成し、仙台市HPに随時掲載しています。

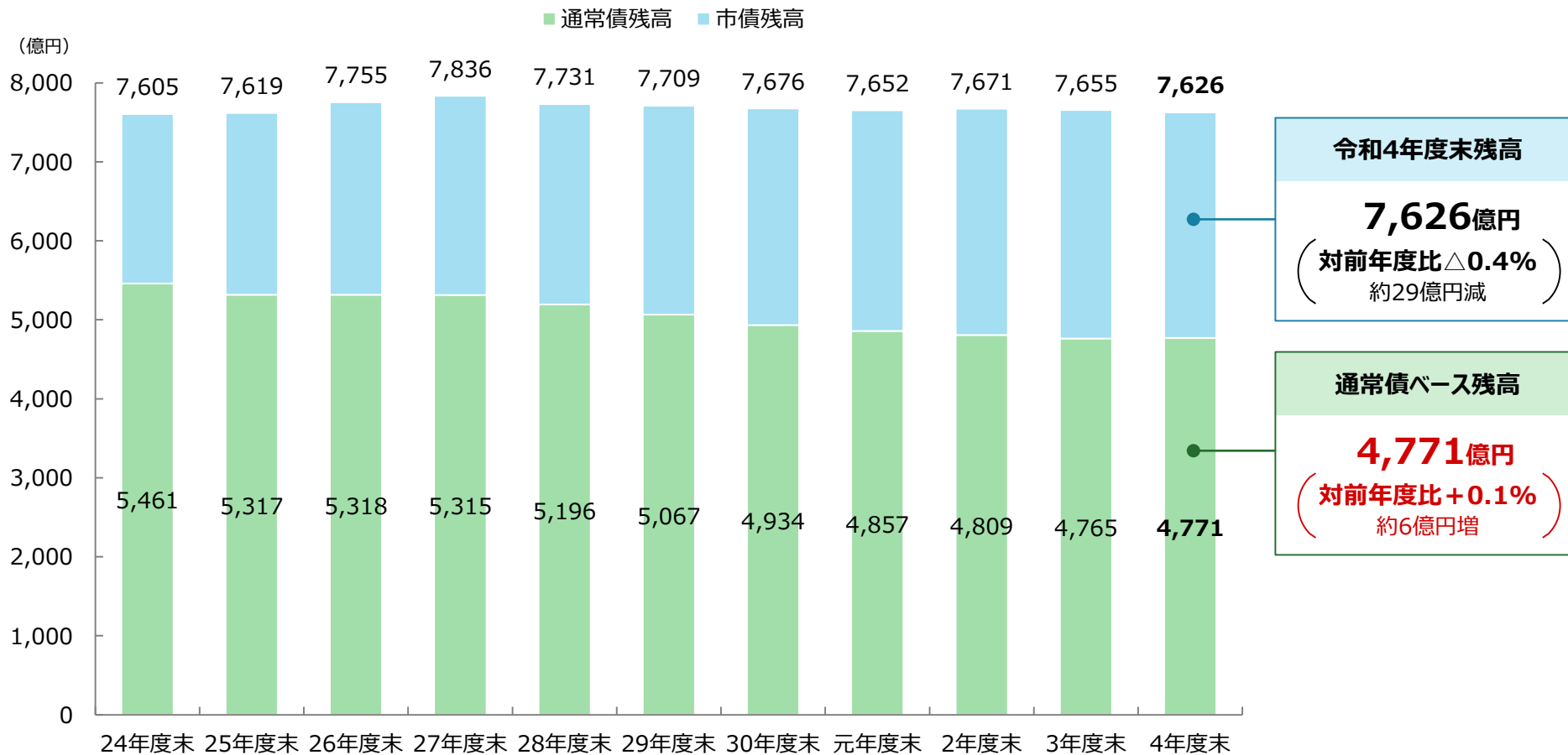
市債発行の状況（一般会計＋特別会計）

- 令和4年度における市債発行額は、臨時財政対策債発行額の減少等により、**対前年度比△1.2%（約10億円減）**となりました。資金調達先は、市場公募債（72.8%）、銀行等引受債（17.9%）、公的資金（9.3%）となっており、市場から多くの資金を調達しています。



普通会計市債残高の推移

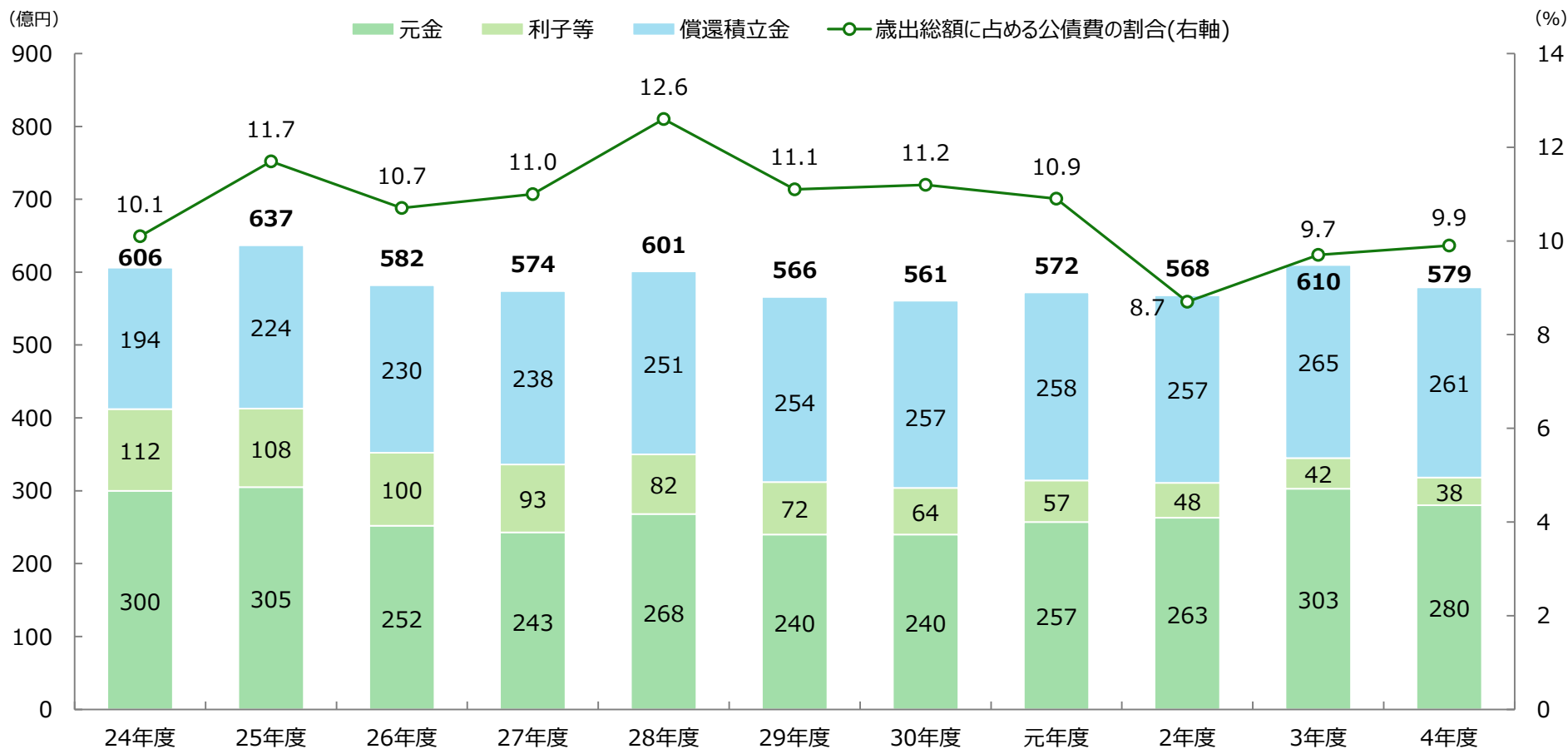
- 仙台市では、必要な公共投資のための市債を発行しつつ、厳選・重点化を行っており、市債（通常債※）残高の着実な縮減に努めています。



※ 通常債 … 地方交付税の不足分を補うために発行する臨時財政対策債等を除いた市債のことです

一般会計公債費の推移

- 令和4年度の歳出総額（目的別）に占める公債費の割合は9.9%となっています。
- 感染症の影響による減収を補てんするために発行した猶予特例債を令和3年度に全額償還し終えたことなどによる元金支払いの減等により、**対前年度比△5.1%（約31億円減）**となっています。



各種基金の状況

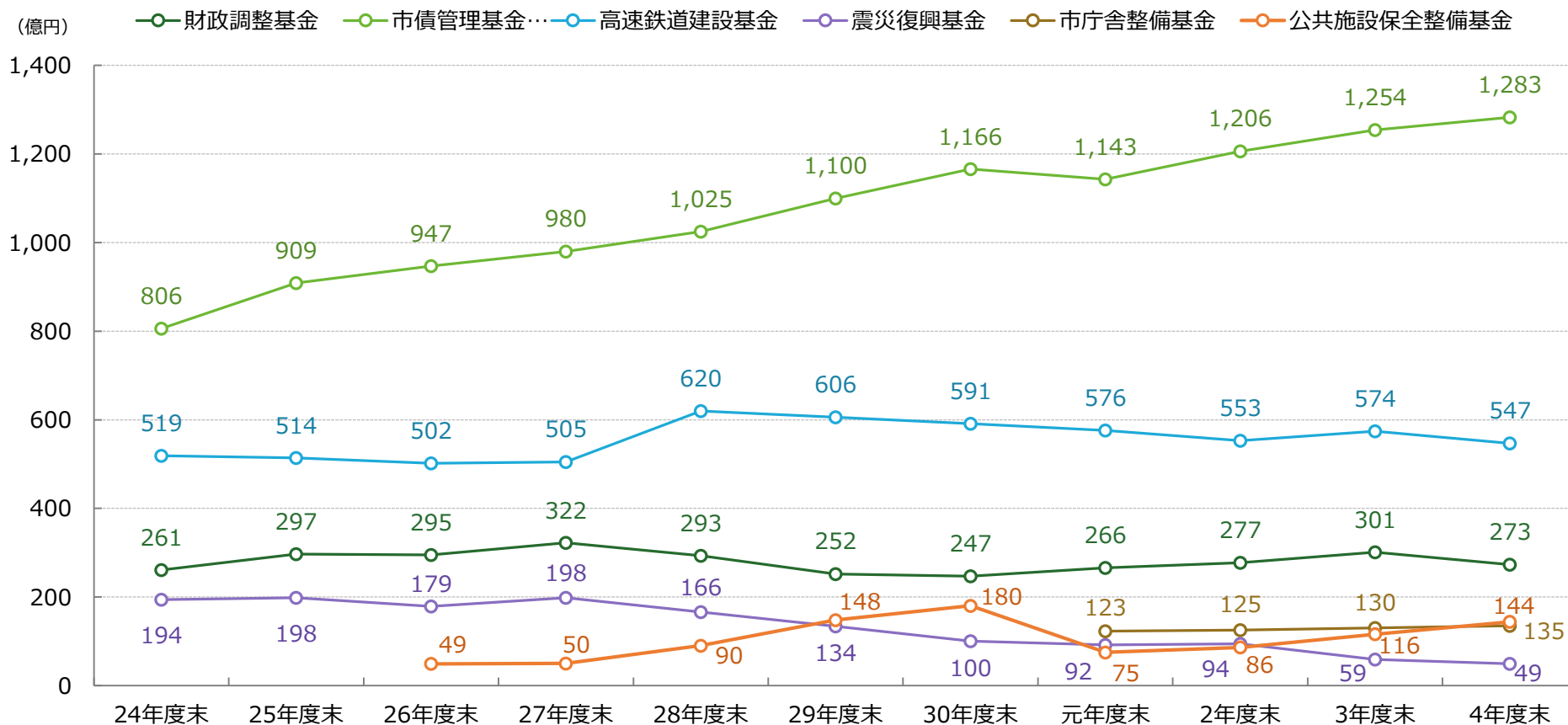
令和4年度末残高

(単位：億円)

基金名	残高	基金の概要
財政調整基金	273	財源の過不足等を調整するための基金
市債管理基金	1,283	市債の償還の財源を計画的に確保するための基金
高速鉄道建設基金	547	高速鉄道の建設、運営及び関連事業に必要な資金を積み立てるための基金 (法人市民税収入(超過課税分)の2分の1に相当する額を毎年度積立)
百年の杜づくり推進基金	9	市街地や周辺地域での緑の保全及び創出に関する施策の推進のための基金
環境保全基金	4	地域に根ざした環境保全活動を展開するための基金
福祉基金	6	福祉事業の推進を図るための基金
文化振興基金	12	文化施設の整備及び文化活動の推進のための基金
仙台城史跡整備基金	6	仙台城の史跡の保存及び活用を推進するための基金
公共施設保全整備基金	144	公共施設の長寿命化に関する事業の推進及び計画的な更新を図るための基金 (事業所税収入の2分の1に相当する額を毎年度積立)
震災復興基金	49	東日本大震災からの復興に関する事業の推進を図るための市の独自基金
中小企業活性化基金	30	中小企業の活性化に関する事業の総合的な推進を図るための基金
災害救助基金	7	災害救助法の規定により設置する基金
市庁舎整備基金	135	市庁舎の整備を図るための基金
奨学金返還支援基金	2	本市産業を担う人材の確保・人材定着促進を目的として行う 奨学金の返還を支援するための基金
土地開発基金	185	公共用地などをあらかじめ取得するための基金
国民健康保険事業財政調整基金	17	国民健康保険事業の財政調整のための基金
介護保険事業財政調整基金	80	介護保険事業の財政調整のための基金
合計	2,789	

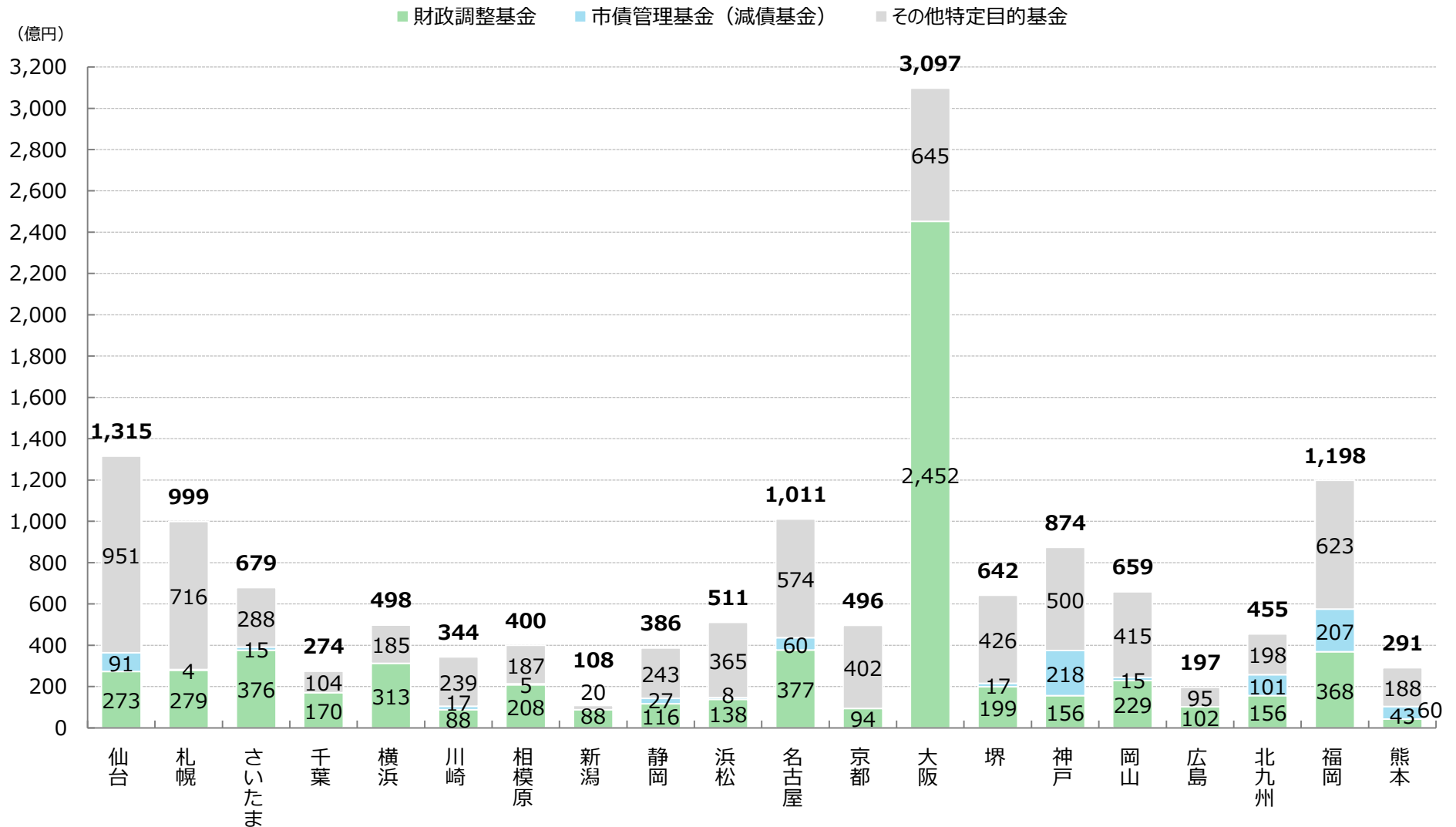
主な基金残高の推移

- 将来の市債償還に備えて「市債管理基金」（減債基金）への着実な積立を行っており、償還財源を着実に確保しています。
- 独自の「高速鉄道建設基金」「公共施設保全整備基金」を設置しています。



※ 東日本大震災復興交付金基金は、復興事業の進捗に伴い、令和2年度末で廃止

基金残高の他都市比較（普通会計）



※ 令和4年度末

3

行財政改革、財政見通し等

仙台市役所経営プラン

- 仙台市では、平成7年度以降、行財政改革を推進する計画を継続的に策定し、職員数の削減や市税等の収納率の向上などを通じて、効率的な運営に取り組んできました。
- 令和4年3月には、人口減少局面の到来、テクノロジーの急激な発展、災害の頻発と激甚化などの社会の変化を踏まえ、「**仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）**」を策定しました。
- この計画においては、「挑戦と進化を続ける市役所をつくる」を仙台市役所の経営理念として掲げ、5つの目指す姿、5つの実施の方向性の下、115の実施項目の着実な推進を図ることとしており、令和4年度～令和8年度における累積の効果見込み額として、概ね122億円を見込んでいます。

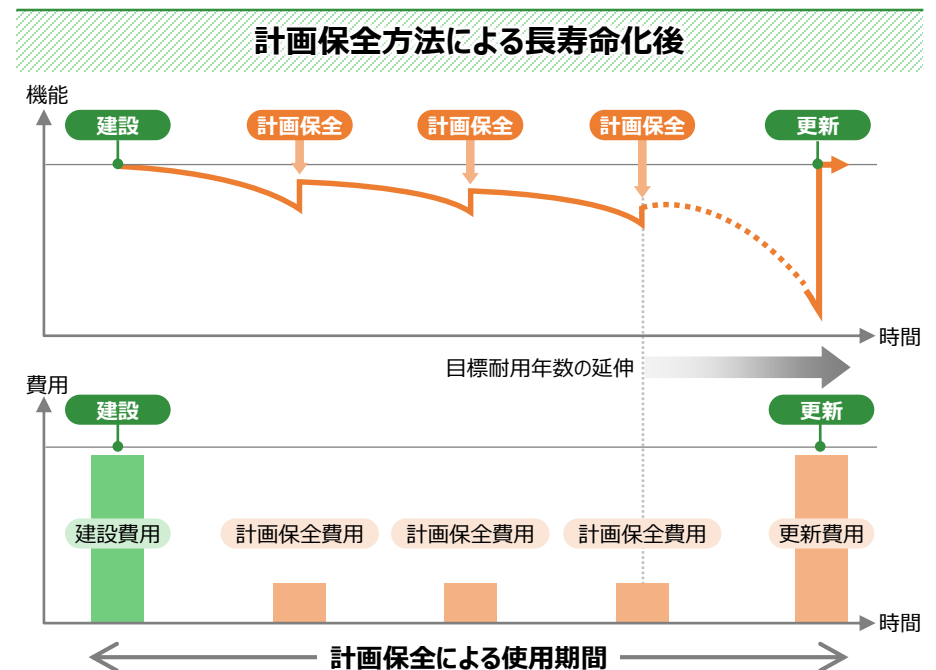
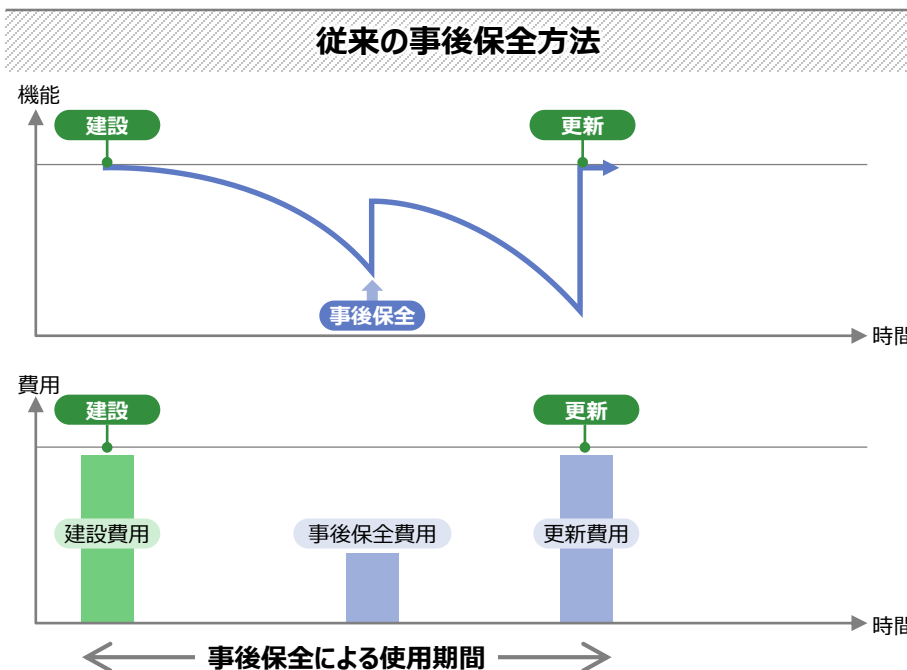
実施の方向性		主な取組み
1	歳入を増やす ① 市税等の収入を確保する ② 多様な財源を増やす ③ 受益と負担を適正化する	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市税・国民健康保険料等の収入確保 ■ 市有地等市有財産の処分と有効活用の推進 ■ 施設使用料等の見直し
2	歳出を見直す ① 取組みを見直す ② 公共インフラを見直す	<ul style="list-style-type: none"> ■ 敬老乗車証、敬老祝金、児童館、給食施設、公立保育所、ごみ処理施設、資源化施設、老人福祉施設、市営住宅等のあり方の検討
3	業務改革を推進する ① 市民サービスを向上する ② 業務の効率化を推進する ③ 公営企業・外郭団体の経営を改革する	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手続きデジタル化の推進 ■ 業務の見える化を通じた市役所BPRの推進 ■ 外郭団体の効果的な事業運営
4	協働を推進する ① 多様な協働を推進する ② 公共施設・空間を効果的に運営する	<ul style="list-style-type: none"> ■ クロス・センダイ・ラボによる公民連携推進 ■ 指定管理者制度の活用
5	組織変革を推進する ① 多様な人材を活かす ② 多様な働き方を推進する ③ 組織力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ■ DX推進に資する人材の育成 ■ 新たな執務環境の検討 ■ 定年延長に伴う人事制度の見直し

仙台市公共施設総合マネジメントプラン

- 仙台市では、平成26年3月に、「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」を策定しました。（平成31年3月更新）
- 公共施設を取巻く環境を踏まえたうえで、施設の老朽化による更新・維持管理コスト増大、人口構造の変化への対応等、さまざまな課題に的確に対応することにより、安心して利用できる公共施設を将来にわたって持続的に提供することを目的としています。

基本方針	1	2	3
	大切に長く使う 整備拡張型から現有施設活用型への転換	効率的に使う・つくる 施設機能に着目した管理・整備手法や民間活力の導入	総合的に進める 推進体制の整備

長寿命化のイメージ 事後保全 こわれた後で直す → 計画保全 大切に長く使う

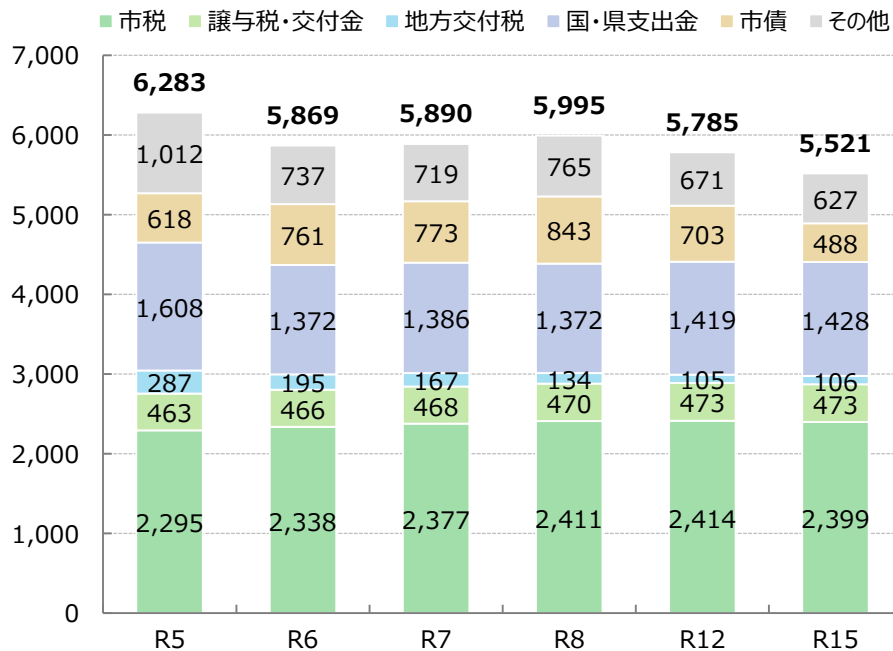


令和5年9月試算 今後の財政見通し（普通会計ベース）

- 令和6年度から令和15年度までの10年間の収支差は約3,621億円前後となる見通しです。
- 成長促進による税源涵養等自主財源確保に向けた取り組みの強化に加え、事務事業の見直しや効率化の徹底、施設の長寿命化等、歳入歳出両面におけるあらゆる方策を講じることで、将来にわたり持続可能な財政運営の堅実性を確保し、本市の魅力や活力を生み出すための未来への投資に繋がっていきます。

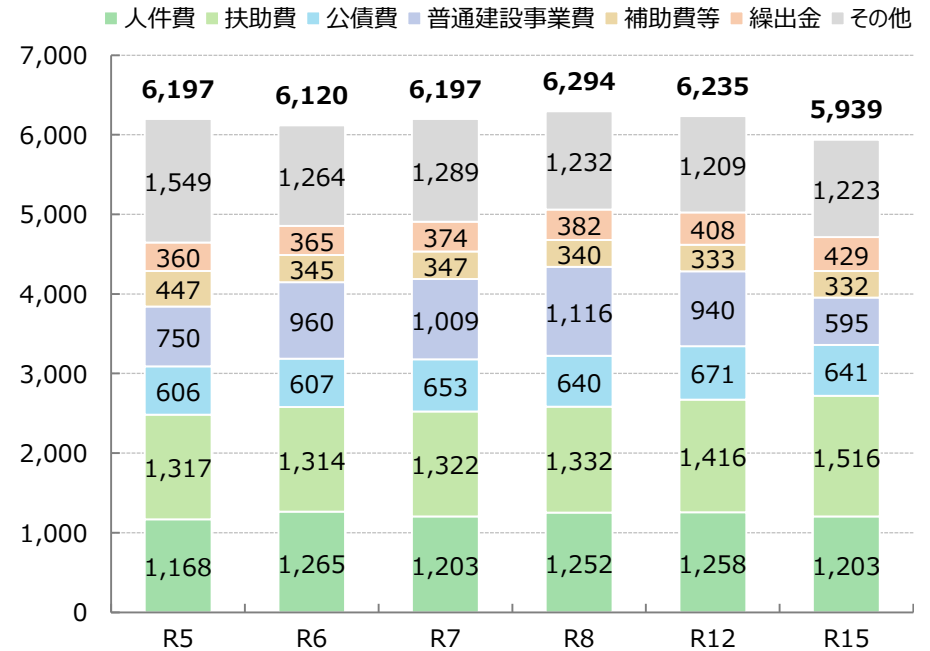
歳入の見通し

- 物価高騰の影響は依然として不透明な状況であるが、内閣府の経済見通しを踏まえると、市税収入は堅調に推移する一方で、連動する形で普通交付税は減少し、主要一般財源はほぼ横ばいで推移する見通し。



歳出の見通し

- 社会保障関係経費や公共施設の長寿命化対策に要する経費、大規模事業の本格化に伴う建設工事費等の増加に加え、高騰が続く物価への対応等に一定程度の経費が必要となる見通し。



令和5年度市場公募地方債発行計画

- 20年個別債やグリーンボンド等の発行にあたっては主幹事方式を採用し、幅広い投資家との対話、金利環境に応じた丁寧なマーケティングを実施し、投資家目線を踏まえた丁寧な起債運営を徹底しています。
- 今年度は新たに個人向けのグリーンボンドを発行するほか、共同発行グリーンボンドにも参加を予定しています。

(単位：億円)

銘柄	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	未定	合計
共同発行（10年）	30	30		30		30		30	30		30	30		240
共同グリーンボンド（10年）								5					5	10
個別発行（5年）	50									120			30	200
個別発行（20年・定時償還）						30								30
個別グリーンボンド（5年）						法人向け 38	個人向け 2							40
合計	80	30		30		98	2	35	30	120	30	30	35	520

仙台市債 個別発行実績

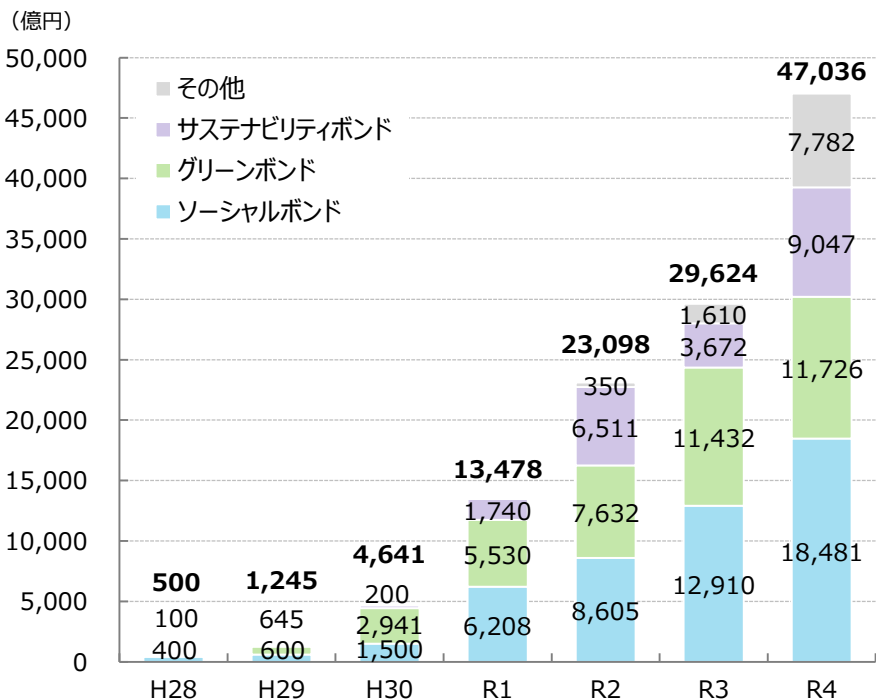
令和3年度					令和4年度					令和5年度（発行予定含む）				
年限	発行額	表面利率	発行価格	発行日	年限	発行額	表面利率	発行価格	発行日	年限	発行額	表面利率	発行価格	発行日
5年	150億円	0.001%	100.00円	R4.1.28	5年	150億円	0.384%	100.00円	R5.1.27	5年	50億円	0.329%	100.00円	R5.4.7
20年 (定時償還)	150億円	0.171%	100.00円	R3.8.18	20年 (定時償還)	100億円	0.407%	100.00円	R4.8.17	5年	120億円	未定	未定	未定
20年 (定時償還)	150億円	0.306%	100.00円	R3.10.19	20年 (定時償還)	30億円	0.611%	100.00円	R4.9.21	20年 (定時償還)	30億円	1.128%	100.00円	R5.9.25
					5年 グリーンボンド	50億円	0.120%	100.00円	R4.9.13	5年 グリーンボンド	40億円	0.329%	100.00円	R5.9.20(法) R5.10.2(個)

グリーンボンドの発行

- 気候変動適応・緩和両面に取り組む施策を行うための資金調達として、令和4年度に地球温暖化対策などの環境施策への活用を目的とした市債である「グリーンボンド」を東北の自治体で初めて発行しました。

SDGs債の状況

- 近年、脱炭素社会の実現に向けた世界的な流れを背景に、環境改善や社会的課題の解決に寄与する事業に資金用途を限定したSDGs債の発行が急増。



※ 日本国内で公表されたSDGs債の発行額の推移。単位は億円
 ※ その他はサステナビリティ・リンク・ボンド、トランジションボンドの合計

発行意義

- 本市が進める「防災環境都市づくり」を加速させる取り組みであるとともに、脱炭素社会の実現に貢献。
- 本市が脱炭素都市の実現に向けて積極的に取り組む姿勢を示すことで、他自治体や事業者のESG投資に対する機運醸成を図り事業活動における脱炭素化につなげるなど、持続可能な社会実現に向けた取り組みを促進。
- 投資家は、投資を通じてリターンを得られるとともに、SDGsの達成に貢献することが可能。
- ご購入された法人名を本市HP上で公表させていただく予定です。SDGs達成にかかる取り組みのアピールにご活用いただけます。

グリーンボンド

環境問題の解決に資するグリーンプロジェクトに要する資金の調達を目的とする債券

ソーシャルボンド

社会課題の解決に資するソーシャルプロジェクトに要する資金の調達を目的とする債券

サステナビリティボンド

グリーン及びソーシャルの双方のプロジェクトに要する資金の調達を目的とする債券

令和5年度グリーンボンド発行概要

防災環境都市づくりを加速させるとともに、 持続可能な社会の実現へ

令和5年度は昨年度発行した法人投資家向けに加え、新たに個人投資家を対象とした「杜の都・グリーンボンド」の販売も実施しています。

法人投資家向けグリーンボンド	
年限	5年（満期一括償還）
発行総額	38億円
各公債の金額	1,000万円
条件決定日	令和5年9月8日（金）
発行日	令和5年9月20日（水）
主幹事	大和証券株式会社（事務）、みずほ証券株式会社
購入対象先	法人投資家

個人投資家向けグリーンボンド	
年限	5年（満期一括償還）
発行総額	2億円
各公債の金額	1万円（一人・一法人につき1,000万円まで）
条件決定日	令和5年9月8日（金）
募集期間	令和5年9月11日（月）～9月29日（金）
発行日	令和5年10月2日（月）
主幹事	大和証券株式会社（事務）、みずほ証券株式会社
購入対象先	①仙台市内にお住まいか、お勤めの個人 ②仙台市内に事業所のある法人・団体 ③仙台市を応援する個人・法人等

企業版ふるさと納税による寄附を募集しています！

仙台市では、地方創生に関連する事業への活用のため、企業※からの企業版ふるさと納税による寄附を募集しています。ぜひ、ご検討いただき、積極的にご活用ください。

※ 仙台市外に本社がある企業が対象です

寄附の詳細につきましては、ホームページをご覧ください

<https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/shise/kigyoubanhurusato/kigyoubanhurusato.html>



活用する
メリット

- 寄附額の最大約9割の軽減効果を活用しながら、地方創生を応援できます！
- 社会貢献や企業のPRをはじめとする事業展開につながります！

お問い合わせ先

仙台市まちづくり政策局政策企画部政策企画課

TEL :022-214-1245

E-mail :mac001620@city.sendai.jp

仙台ふるさと応援寄附

仙台市は、復興の次のステージに向けて確実に歩みを進め、希望ある未来を創るため、人々の夢や意欲を育み、躍動し続けるまちづくりに取り組んでいきます。皆様の寄附による仙台市への応援をよろしくお願いいたします。寄附金の使い道として、防災・減災施策の充実や子育て支援を含む、選べる30の応援寄附メニューを設けています。

お問い合わせ先

仙台市の寄附に関すること 仙台市財政局財政部財政企画課 TEL:022-214-8111

税の控除に関すること お住まいの市区町村の税務担当課にお問い合わせください。



寄附の詳細につきましては、ホームページをご覧ください

仙台ふるさと応援寄附

検索

<https://www.city.sendai.jp/zaiseikikaku-somu/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/oenkifu/index.html>



仙台市財政局財政部財政課資金係

住所

〒980-8671 宮城県仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

TEL

022-214-8112

FAX

022-262-6709

HP

<https://www.city.sendai.jp/shikin/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/index.html>

Mail

zai003010@city.sendai.jp